

2026年
4－6月期

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、拡大基調にある。

●2026年4－6月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



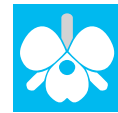
良い

企業倒産



ふつう

雇用状況



やや良い

2026年4～6月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数は前年同期を下回りました。

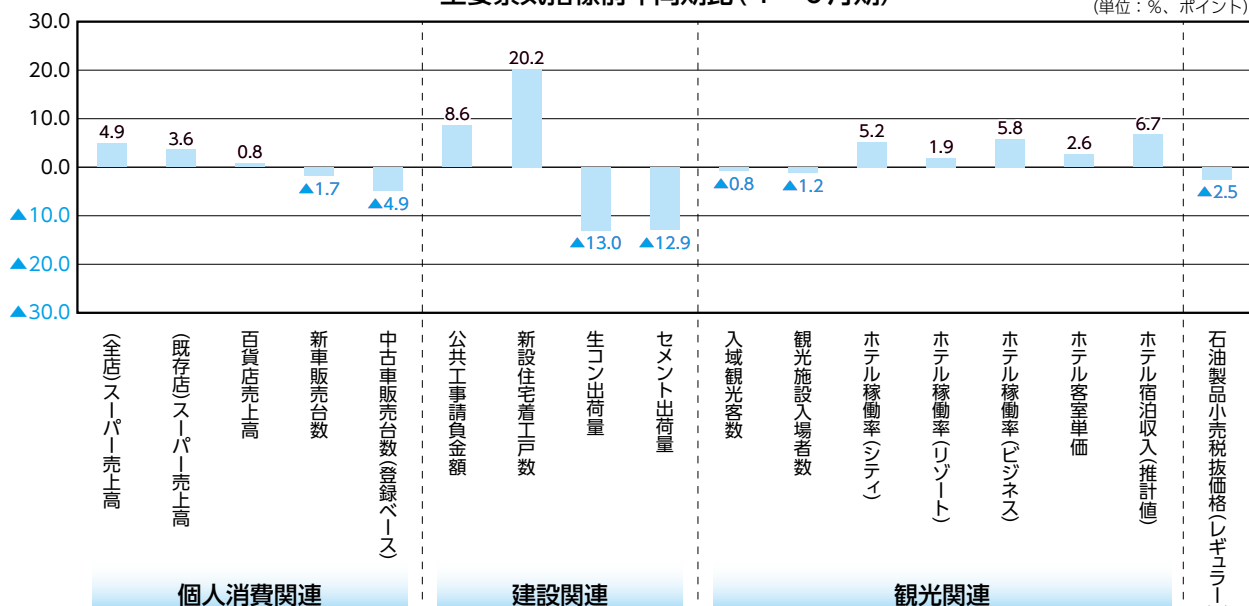
建設関連では、公共工事請負金額は、国の発注工事の増加により前年同期を上回りました。建設資材である生コン・セメントはともに前年同期を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同期を下回り、観光施設入場者数も前年同期を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同期を上回りました。ホテル客室単価は前年同期を上回り、宿泊収入（推計値）は前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、拡大基調を維持しているものの、一部に停滞感がみられます。建設は、公共関連は堅調に推移し、民間関連は弱含んでいます。観光関連は、拡大しています。よって、**県内景況は、拡大基調にある**と判断いたしました。

主要景気指標前年同期比（4～6月期）

（単位：％、ポイント）





個人消費



(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

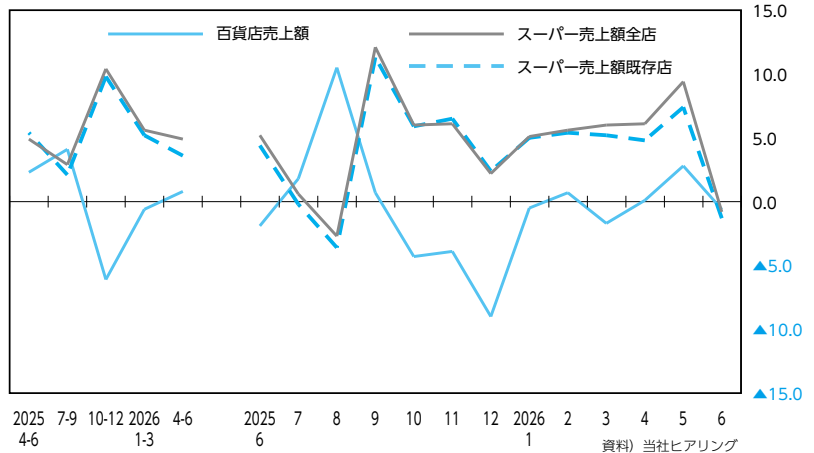
2026年4～6月期の個人消費関連

は、**スーパー売上高は「全店ベース（前年同期比4.9%増）」**で前年同期を上回りました。品目別では、「食料品（同4.0%増）」は物価高による単価上昇などにより前年同期を上回りました。「衣料品（同6.9%増）」は、観光客を含む客数増加などにより前年同期を上回りました。「家庭用品（同9.3%増）」は、県の省エネ施策の影響などにより前年同期を上回りました。

「**既存店ベース（同3.6%増）**」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同2.7%増）」は、物価上昇の影響などにより前年同期を上回りました。「衣料品（同6.1%増）」は、観光客を含む客数増加などにより前年同期を上回りました。「家庭用品（同8.3%増）」は、県の省エネ施策の影響などにより前年同期を上回りました。

百貨店売上高（同0.8%増）は、前年同期を上回りました。内訳をみると、ウエイトの高い「食料品（同10.1%増）」は、催事企画の好調などにより前年同期を上回りました。「食堂喫茶（同11.6%増）」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同期を上回りました。「衣料品（同5.4%減）」は、前年同期を下回りました。

前年同期比、前年同月比

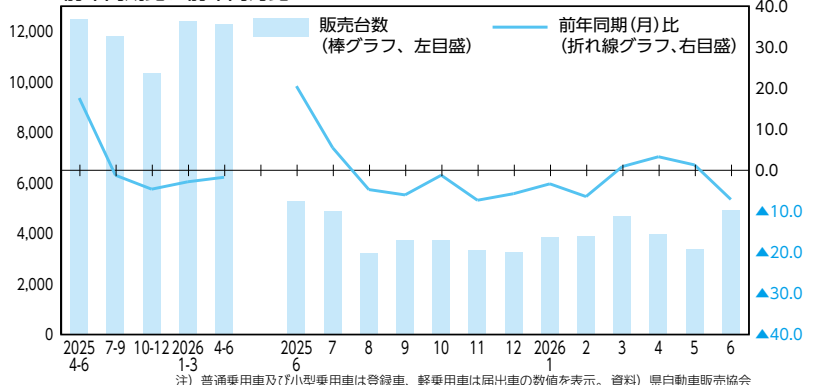


② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を下回る。

新車販売台数は、全体で12,289台（同1.7%減）となり、前年同期を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同9.3%減）」、「軽乗用車（同6.9%減）」は、前年同期を下回りました。「小型乗用車（同12.1%増）」は、前年同期を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

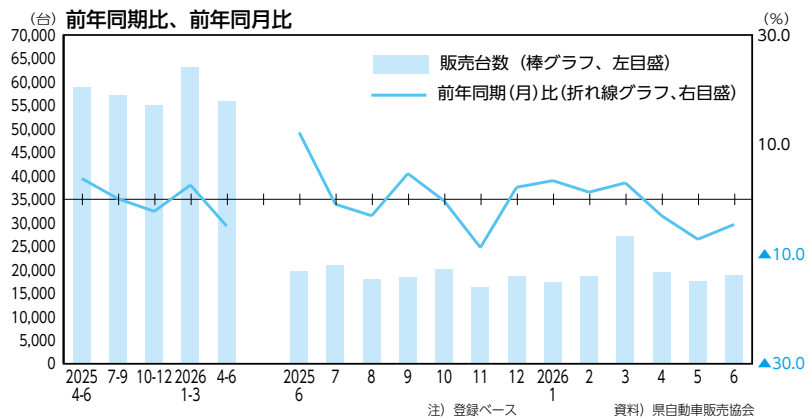
前年同期比、前年同月比



注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。資料) 県自動車販売協会

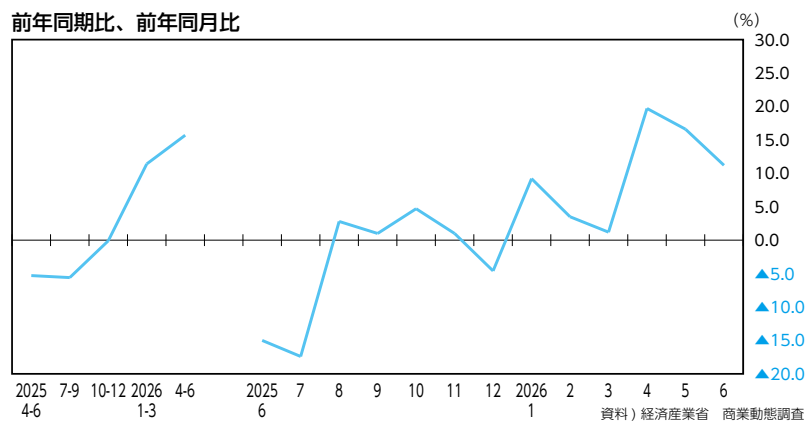
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を下回る。

中古車販売台数は、全体で55,976台（同4.9%減）となり、前年同期を下回りました。車種別では、「乗用車（同6.0%減）」、「軽自動車（同4.2%減）」は、前年同期を下回りました。



④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同期を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同期を上回りました。

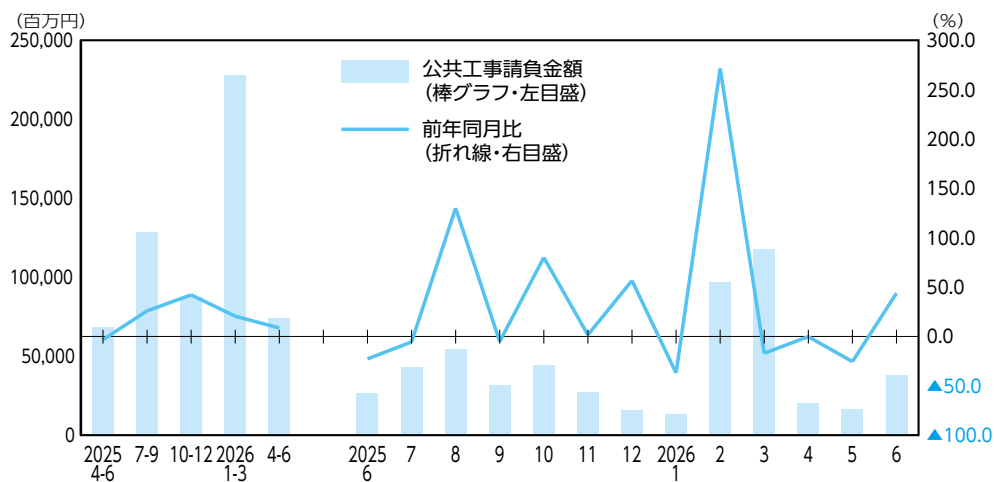


建設関連



（ふつう）

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



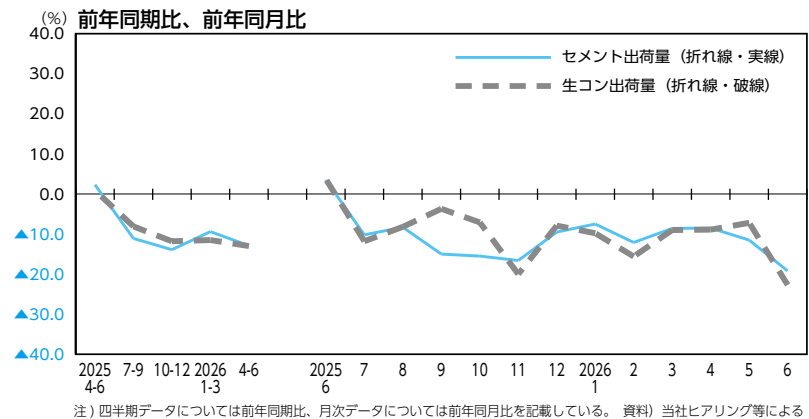
2026年4－6月期の公共工事請負金額は、前年同期比8.6%増の742億9,400万円となりました。発注者別でみると、「国（同78.4%増）」、「その他の公共的団体（同8.5%増）」は前年同期を上回りました。一方、「沖縄県（同12.0%減）」、「市町村（同8.1%減）」、「独立行政法人等（同79.9%減）」は前年同期を下回りました。



② 建設資材…生コン・セメントともに前年同期を下回る。

2026年4－6月期の建設資材関

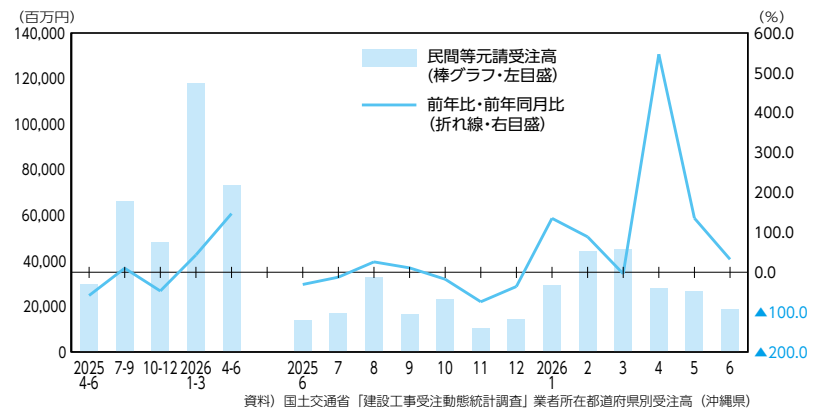
連では、**生コン**の出荷量は13.0%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷(18.1%減)、民間工事向け出荷(10.7%減)はともに前年同期を下回りました。**セメント**出荷量は12.9%減と前年同期を下回りました。



③ 民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年同期を上回る。

2026年4－6月期の民間等から

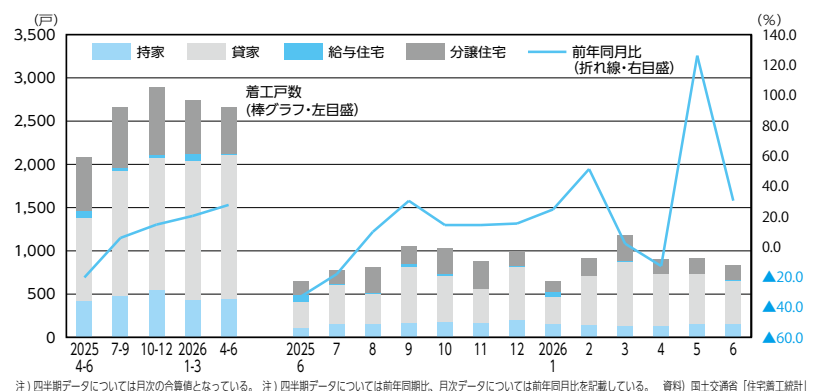
の元請受注高は、147.0%増と前年度同期を上回りました。



④ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を上回る。

2026年4－6月期の新設住宅着

工戸数は、全体で前年同期比27.5%増の2,658戸となりました。利用別戸数をみると、「貸家(同74.5%増)」、「持家(同5.3%増)」は前年同期を上回りました。一方、「分譲住宅(同12.0%減)」、「給与住宅(同97.8%減)」は前年同期を下回りました。

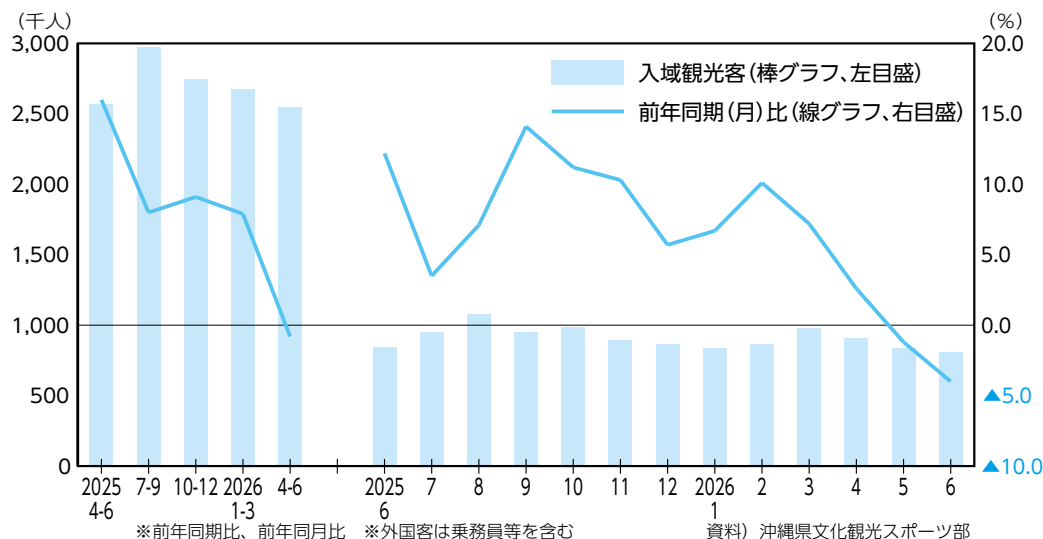


観光関連

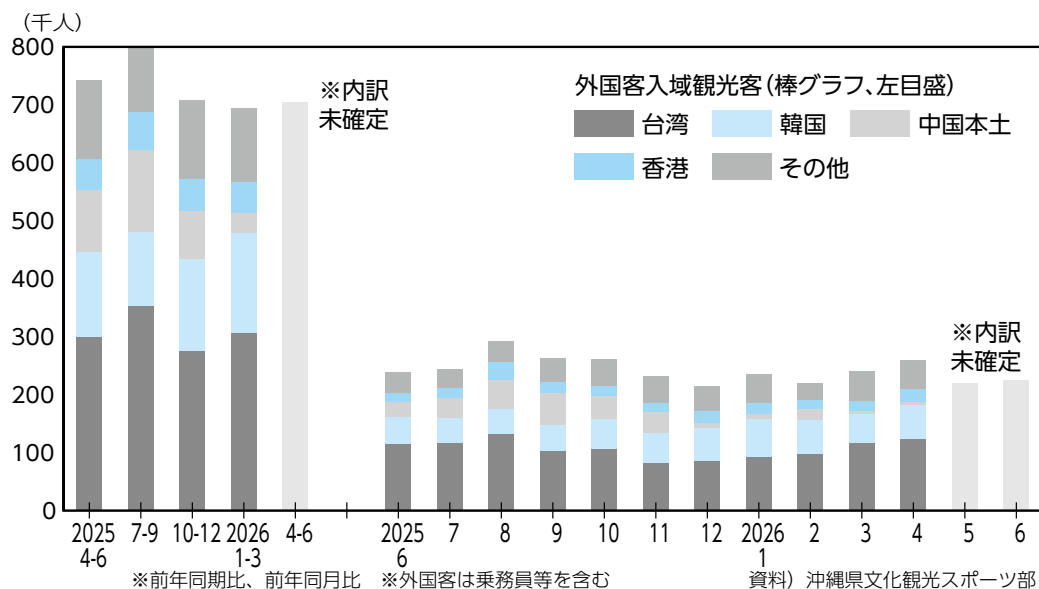


(良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を下回る。



② 外国客入域観光客数…前年同期を下回る。



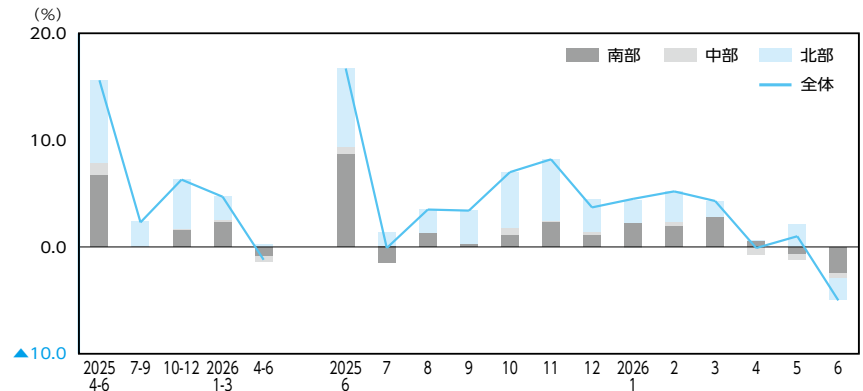
2026年4-6月期の入域観光客数は、外国人観光客(海路)の減少や台風接近の影響などにより、前年同期を下回りました。



③ 観光施設入場者数…南部・中部地域は前年同期を下回り、北部地域は前年同期を上回る。

2026年4－6月期の観光施設

入場者数は、全体では前年同期より1.2%減少しました。地域別にみると、南部にある観光施設は1.9%減、中部は7.9%減、北部は0.3%増となりました。



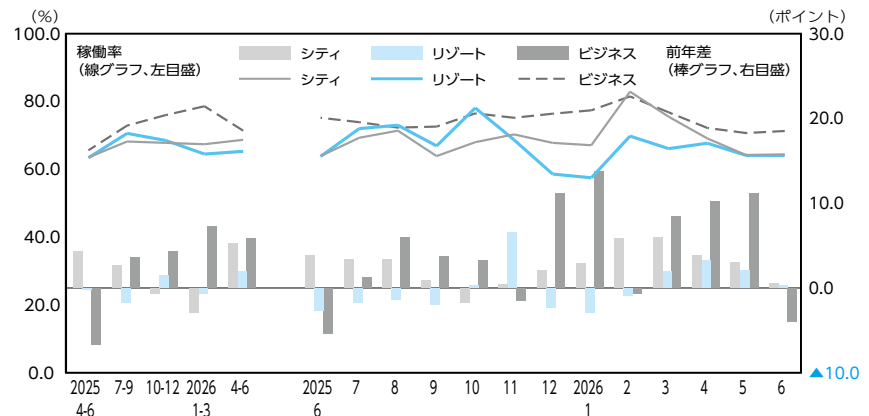
※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設 ※グラフは全体の寄与度を表示。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。注) 棒グラフは各地域の寄与度を表している 資料) 当社ヒアリング

④ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回る。

2026年4－6月期の県内ホテル

稼働率は、シティホテルが68.7%と前年同期差5.2ポイント上昇、リゾートホテルが65.3%と同1.9ポイント上昇、ビジネスホテルが71.4%と同5.8ポイント上昇しました。

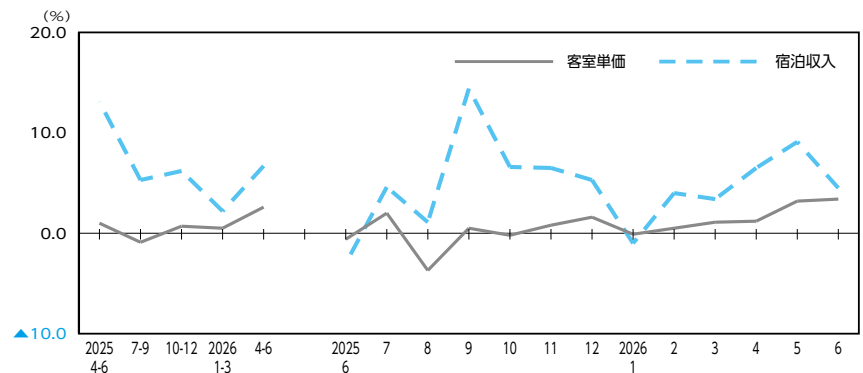


※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

資料) 当社ヒアリング

⑤ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同期を上回る。

ホテル客室単価（シティ&リゾート）は前年同期比2.6%増と前年同期を上回りました。**宿泊収入**は同6.7%増と前年同期を上回りました。



※対象施設数: 22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く

※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

資料) 当社ヒアリング

企業倒産

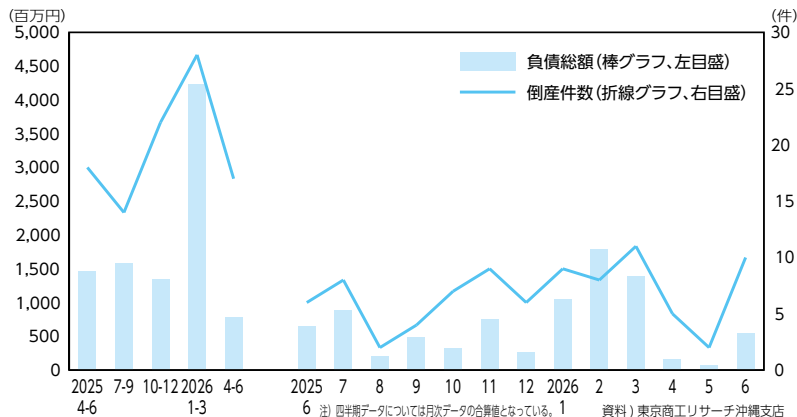


(ふつう)

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同期を下回る。

2026年4-6月期の企業倒産件数

は、17件（うち大型倒産 [負債総額10億円以上なし]、大口倒産 [負債総額1億円以上10億円未満なし]）となり、前年同期より5.5%下回りました。負債総額は7億7,300万円となり、前年同期を47.3%下回りました。



雇用関連

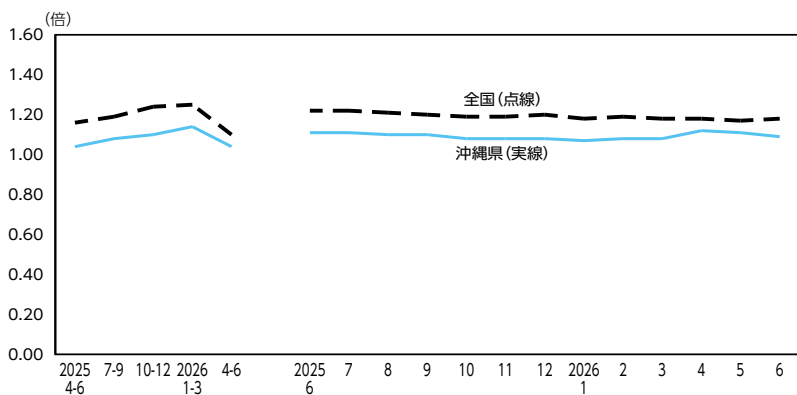


(やや良い)

① 有効求人倍率…前年同期と同水準。

2026年4-6月期の雇用状況は、

有効求人数（四半期平均）は前年同期比5.9%減の28,227人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比5.9%増の27,239人となり、有効求人倍率（同上）は1.04倍と前年同期と同水準となりました。



② 完全失業率…前年同期を上回る。

2026年4-6月期の完全失業率

(原数値平均) は、3.4%となり前年同期より0.2ポイント上昇しました。

